

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、特異的 I g E (MAST33 アレルゲン)におきまして、
ご要望の高いアレルゲンを新たに組み合わせた試薬が発売され、新
規受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。
なお、従来項目は、これに伴い受託中止させていただきます。
当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成 26 年 2 月 17 日 (月) ご依頼分より

■新規実施項目

検査項目	●特異的IgE (MAST33アレルゲン)
------	-----------------------

今回の受託開始に伴い、平成26年2月14日ご依頼分をもって下記従来項目の受託を中止させていただきます。
何卒ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

項目コード	項目名	実施日
62739	特異的IgE (MAST33アレルゲン)	平成26年2月14日ご依頼分をもって受託中止

●特異的IgE（MAST33 アレルゲン）

少量の血清で、幅広い範囲のアレルゲンが検索できる新しいMAST33 アレルゲンの受託を開始いたします。

このたび、ご要望の高い5つのアレルゲン（キウイ、バナナ、ゴマ、豚肉、オボムコイド）を加えた新しいMAST33 アレルゲンを受託開始いたします。

現在、食物アレルギーの発症数と重篤度が高い食品については、表示義務あるいは表示を奨励されている「特定原材料等」が定められています。新しいMAST33 アレルゲンは、表示が必須である「えび、かに、卵、小麦、そば、落花生、乳」はもとより、昨年9月に追加された「ごま」を含む、ご要望の高い「特定原材料等」を備えたアレルゲン構成の検査です。

▼新アレルゲン一覧

食品の表示義務のある「特定原材料」に関するアレルゲンは太字下線で、表示を奨励されている「特定原材料に準ずるもの」は太字波下線で表示しています。

コナヒョウヒダニ、ハウスダスト1、ネコ皮膚、イヌ皮膚、オオアワガエリ、カモガヤ、ブタクサ混合物1、ヨモギ、スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、カンジダ、アルテルナリア、ラテックス、**キウイ、バナナ、ゴマ、ソバ、小麦、ピーナッツ、大豆、米、マグロ、サケ、エビ、カニ、ミルク、豚肉、牛肉、鶏肉、オボムコイド、卵白**

従来項目のハルガヤ、ペニシリウム、クラドスポリウム、アスペルギルス、チェダーチーズに替えてキウイ、バナナ、ゴマ、豚肉、オボムコイドが追加されました。

▼検査要項

項目コード No.以外の検査要項内容は、従来項目と変更ありません。

なお、新試薬の添付文書では、検査方法の表記が「CLEIA」になりましたが、従来の測定原理と変わりありません。

項目コード No.	64856
検査項目名	特異的IgE（MAST33アレルゲン）
検体量	血清 0.5 mL
容器	X（ポリスピッツ）
保存方法	冷蔵保存してください。
所要日数	3～5日
検査方法	CLEIA
基準値 （単位）	MAST クラス0 1.39 以下 (LC)
検査実施料	1430点（「D015」血漿蛋白免疫学的検査の「11」）
検査判断料	144点（免疫学的検査判断料）
備考	溶血でのご依頼は避けて下さい。 判定基準、アレルゲン一覧表は別表をご参照ください。

▼判定基準

判定	MAST クラス	ルミカウント (LC)
陰性	0	0 ～ 1.39
疑陽性	1	1.40 ～ 2.77
陽性	2	2.78 ～ 13.4
	3	13.5 ～ 58.0
	4	58.1 ～ 119
	5	120 ～ 159
	6	160 ～ 200

●参考文献

中川 武正、他：アレルギーの臨床26（3）：238～242、2006。（検査方法参考文献）
岩崎 栄作、他：日本小児アレルギー学会誌4（1）：87～95、1990。